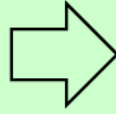


畑地かんがいを活用した露地レタスの安定生産と新規作物の導入 ～西館 豊 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成4年
基幹作物：レタス、水稻
経営面積：2.7ha



現在：平成27年
基幹作物：レタス、水稻、菌床しいたけ
経営面積：5.2ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

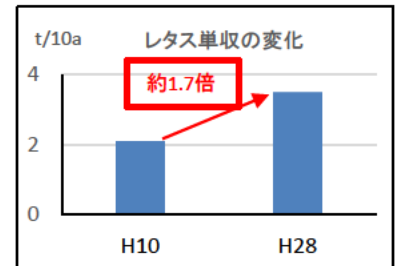
レタス栽培に畑地かんがいを利用することによって計画生産と干ばつ回避、適期防除が可能となり、単収が向上したことに加え、全面マルチ栽培に取り組んだことにより、省力化が図られた。

また、事業実施後は菌床しいたけを新規導入し、周年の営農が可能となり、農業経営を安定させている。

営農改善のポイント

① 単収の安定・向上

レタス栽培への畑地かんがいの利用により、計画的な定植、定植後の干ばつ回避、適時適切な防除が可能となり、栽培方法も改善したことから、単収が1.7倍程度に向上した。



② 栽培技術の確立・向上

レタス栽培の先進地での研修を経て、平畝でのマルチ栽培から全面マルチ栽培を導入し、マルチ張り作業の時間短縮や雑草の発生抑制により、省力化が図られた。また、新規導入した菌床しいたけの栽培にあたって、畑地かんがい用水を利用することにより、高温による障害発生を回避している。



③ 作物の変化

冬期間は兼業により収入を確保していたが、年齢的に困難になったことから、新規に菌床しいたけを導入した。菌床へのかん水作業に畑地かんがいを活用できたことにより、栽培の規模を導入時の3倍に拡大している。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：二戸市、一戸町
受益面積：2.191ha
事業期間：平成5年～平成23年
事業目的：用水改良、畑地かんがい
主要工事：ダム1箇所、揚水機場4箇所、用水路L=83km

位置図（岩手県）



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農村環境課
電話：022-263-1111
(内線4448)

(平成28年度調査時点)